

何かを「知っている」と、「使える」ということは違います。「その英語、聞いたらわかるけど」という言葉や表現は、知識として理解しているけれど、実際には身に付いていないということです。

この新しいテキストは、知識としての英語を増やすのではなく、「使いこなせるようになる」ことが目標です。「使いこなせる」とは、レッスン内容とは違うシチュエーションであっても、適切にその言葉、表現を「使える」ということです。

「使いこなせる」ようになるまで記憶に染み込ませていくには、ターゲットやレッスンはシンプルでなければいけません。複雑であれば内容の理解だけで40分のレッスンが終わってしまうからです。

それぞれのレベルで学べる内容のステージも異なります。

一步一步進むことで確実に英語を使いこなせるようになること

それがこのテキストの目的です。

LEVEL 5

5a-16 I'll decorate the cake.

本日のポイント: 助動詞 will 「～するつもりです」
 16:01 これから先のことを話す時には助動詞 will を使います。助動詞の後には動詞の原形が続きます。will は 'll と省略することもあります。ここでは意志を伝える will を紹介します。

P38

誤解を解いて、使える英語を学ぶ

例えば中学校の文法では will は be going to を使って書き換えられる、と習いましたが、ネイティブの英語では意味が違うので使い分けが必要です。

will は話し始めてから決めたことや、これから先におこりそうなことを予測して話す時に使い、be going to はすでに決めていたことを話す時に使います。

5a-17 She's going to take painting classes.

本日のポイント: be動詞 + going to 「～するつもりです」
 17:01 「～するつもりです」と、すでに決めている予定を話す時には be動詞 + going to を使います。to の後には動詞の原形が続きます。

P40

LEVEL 6

6a-46 It was pretty good.

Language

Practice giving assessments using pretty.
 pretty を使って評価をする練習をしましょう。

How was (the ballet)?

It was pretty (good), but (I fell asleep halfway through).

It was pretty (good). (I actually had a lot of fun.)

P98

アクセントやイントネーションで意味を変える

英語は日本語に比べてアクセントやイントネーションがはっきりしていますし、それを少し変えるだけで全く違う意味になります。

例えばこの pretty は下げ調子で言うと「いまいち」、上げ調子で言うと「よかった」のように、全く逆の意味になります。

LEVEL 7

7a-37 You're going to wake the baby.

P80

表現の異なる使い方、意味を知る

よく知っている、と思われる表現でも、実はネイティブは、知っていたのとは違う使い方をしていることもあります。これらを覚えることで思い違いをなくし、また表現力が広がります。

Making high probability predictions

▶ 7:01 be going to は、最近起こったことを根拠に、起こる確率が高いと思われることを伝える時に使います。原因とその結果の関係を表す時によく使われます。

If you hit it there again, it's **going to** break.

Why would you ask someone to turn the volume down?



A: Hey. Turn the volume down.

B: But it's my favorite show.

A: I don't care. It's too loud. You're going to wake the baby.

B: Okay, okay. I'll turn it down. But why is she sleeping now, anyway? Isn't it time for her feed?

A: Usually, yeah. But she didn't sleep well last night, so I'm letting her sleep a little more now.

LEVEL 8

8a-44 What concerns me is how...

P95

なじみのない話題でも参加できる

レベル8は自分の日常生活になじみのない話題であっても自分なりに、自分の英語で意見を伝えられる、ということがターゲットの1つになっています。実際はこういった場面におかれることはあまりないかも知れませんが、効果的に自分の意見を伝える方法を使いこなすことで、さまざまな場面に活かすことができます。

▶ Production

Choose one of the environmental problems. Discuss what worries you about



LEVEL 9

9a-35 The judge should throw out the case.

P76

英語を使って新しい知識を得る

このレッスンのターゲットは動詞と前置詞のコロケーション、テーマは訴訟問題です。実際に英語を使って法廷に立つということはないかとは思いますが、このレベルでは英語を使いながら新しい知識を得たり、自分の意見をきちんと伝えられる力を身に付けることができます。英語をコミュニケーションツールとして、自分の世界を広げることが可能になります。

▶ Giving opinions using verb and preposition collocations

▶ 35:01 Collocations are two or more words that are commonly used together in English. It is best to learn them as sets because there are few rules governing them.

I'd **go through with** the lawsuit because I think they're responsible.

If a server spilled coffee on you, would you file a lawsuit?